

活動名

関係する学校名

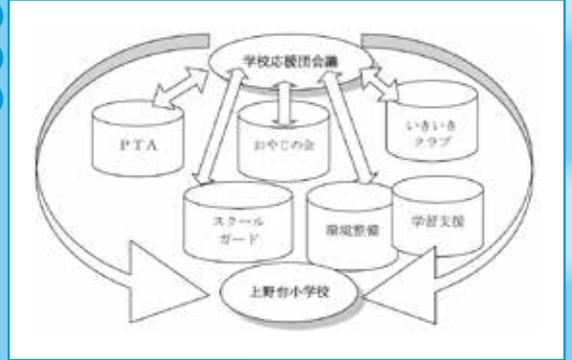
埼玉県ふじみ野市

上野台小学校学校応援団活動

上野台小学校

基本データ	学校支援活動	●	統括コーディネーター数 0人	地域コーディネーター数 1人	ボランティア登録数 112人	学習支援 無	開始年度 20年度	国庫補助 有	ICT活用 無	企業・NPOとの連携 無
	地域未来塾		統括コーディネーター数	地域コーディネーター数	ボランティア登録数	子供の平均参加人数	開始年度	国庫補助	ICT活用	企業・NPOとの連携
	放課後子供教室		統括コーディネーター数	地域コーディネーター数	子供の平均参加人数	年間開催日数	開始年度	国庫補助	ICT活用	企業・NPOとの連携
			実施場所		学習支援	放課後児童クラブとの連携				
	土曜日の教育活動		統括コーディネーター数	地域コーディネーター数	子供の平均参加人数	学習支援	開始年度	国庫補助	ICT活用	企業・NPOとの連携
	コミュニティ・スクール		指定日				委員数	児童生徒数	学級数	

体制図



**活動の概要**  
 上野台小学校学校応援団は、子供たちの健やかな成長を図るために、地域・保護者と協力し、より一層学校教育を充実させていこうと組織したものである。今の児童たちが30年後に「地域の一員として生きる大人」として育つことを見据え、学校を核として保護者・地域との相互性を高めている。この考えを基に、地域社会の文化を伝えること、地域の子供たちの安全を見守ること、学習環境を潤いのあるものにするなど「できる人ができる時にできることをする」を基本理念とし、学校応援団活動を行っている。学校・地域・保護者との交流を通して、豊かな心を育んだ子供たちを地域に送り出すことを目指している。

## ● 活動の特徴・工夫

### 【特徴的な活動内容】

#### ①年間4回の学校応援団会議

上野台小学校の教育を支え、活動に協力する団体ボランティアの代表が、相互の活動を理解し充実させるため、提案・検討を行う会議である。学校応援団の活動状況の相互理解をはじめ、活動を充実させるための計画・検討等を行っている。

#### ②福島ひまわりプロジェクト

東日本大震災で大きな被害を受けた福島県からひまわりの種をいただき、そのひまわりを児童、保護者、花壇担当、いきいきクラブをはじめとする地域の方等と一緒に育てる活動である。育てたひまわりの種は児童が採取し、袋詰めして福島県や地域の方々にプレゼントしている。

#### ③おやじの会の活動

平成15年度に始まった上野台小学校おやじの会では、父親の力で子供たちにできることを考え、活動している。現在は58人が参加している。主な活動は、運動会のテント張り及び片付け、校内警備、「ひかり祭」でのジャンボチャーハン作りと無料配布、卒業生への祝い餅などである。

### 【実施に当たっての工夫】

①学校応援団コーディネーターが中心となり、会議を主体的に行っている。連絡・調整の手段を整え、相互理解を深めることで新たな活動が始まった。花壇づくりは自主的な活動に発展している。

②ひまわりを育てるだけでなく、学校応援団活動を通して東日本大震災のことを考え、豊かな心の醸成を図っている。

③長く続けていくために、「無理をせず、できる人ができる時にできることをやる」ことをおやじの会のモットーとしている。

## ● 事業を実施しての効果・成果

年4回の会議で、どんな思いでどのような活動を行っているのかという相互理解を重ねることができ、様々な団体とのつながりを深めることができた。福島ひまわりプロジェクトなど、児童と地域の方が一緒に行う活動を重ねることで、一体感が深まった。おやじの会の活動は、子供たちの中に定着しており、「感謝の集い」を通して、地域への誇り、いつか地域に恩返しをしたいという児童が増えてきた。ボランティアの感想の中には、「地域のいろいろな方々が、子供たちのために様々な活動をしているのだと感じた。」「子供からお年寄りまで、様々な方々が活動と一緒にすることで、一体感が生まれた。これからも続けていきたい。」など、活動に関わる全ての人に効果があった。

## ● その他

今年度は、地域の方からいただいた「竹とんぼ」という詩に学校で曲をつけ、「感謝の集い」で子供たちが披露した。

これからも地域・保護者の皆さんとの交流経験を通して、地域の教育力を一つにし、「豊かな心を育んだ子供たちを未来に届ける」ことを目指す。



学校応援団会議



おやじの会による ジャンボチャーハン作り